

# 工事起工 概要書

			部 長	次 長	課 長	課長補佐	課 員	課 員	審 査 員	設 計 者
執行年度			平成 29 年度							
工事番号 工事名			第 29-05-149-E-002号 29市単公下第1号工事 起工 設計書							
工事場所 又は履行場所			石岡市 総社二丁目							
施工方法			原契約年月日		年 月 日					
工期又は 履行期間			平成 年 月 日 から平成 年 月 日 まで 60 日間							
受注者										
費 目			起 工		第 1 回変更		増 減 (△)			
起 工 額									変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率	
請負(委託) に付する額									請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$	
工事(業務) 価 格									(小数第7位切り捨て6位止め)	
測量試験費 又は工事雑費									変更積算工事価格 - 円	
消費税相当額									請負比率 -	
請負(委託) 決 定 額									変更工事価格 - 円	
工 事 概 要										
内 容			規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3 単位 3
管路(開削)工事			L =	29.5	m	φ =		mm	土被り	m
管布設工PRPΦ200			L =	27.7	m					
付帯工(仮復旧)			1.0式							
変更理由										

# 29市单公下第1号工事



# 特記仕様書

## 第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

## 第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

## 第3章 現場条件

### 1. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

### 2. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、請負人は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

### 3. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

### 4. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所中存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

### 5. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

(2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

(3) 請負者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式 1（平成 14 年 5 月 29 日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式 1）により監督員に報告すること。

- I. 再資源化が完了した日
- II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- III. 再資源化等に要した費用

#### 6. 付近の建物等への影響

請負人は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、請負人の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

#### 7. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし柵装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### 8. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

#### 9. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第 1 編第 1 章 1-1-5 工事カルテの作成、登録」に則り、工事カルテの工事实績情報サービス(CORINS)への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

## 第4章 工事用地等

### 1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

## 第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は請負者の負担とする。

## 第6章 工事材料

### 1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

### 2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。  
コーン貫入試験 コーン指数 400kN/m<sup>2</sup> 以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土は、下記の場所に搬入すること。

#### 搬入場所

茨城県石岡市染谷地内

石岡《(財)茨城県建設技術管理センター》

- I 工事着手前に、(財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部(以下『管理センター』という。)より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。
- II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験(含水比を含む)等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。
- III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせること。
- IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。
- V その他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合せ先：財団法人 茨城県建設技術管理センター

建設副産物リサイクル事業部

水戸市青柳町4209

TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

### 3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

請負者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で

提出し監督員の承諾を得なければならない。また、請負者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1) 認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層工	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度A7J(13)	指定しない
路盤工	再生路盤材(再生碎石)	RC-40	指定しない

第7章 施工計画

1. 工事計画

現場代理人は、工事請負契約後、施工計画書を提出し監督員と協議した後、工事に着手すること。

2. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

3. 指定仮設

(1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 請負者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を施工計画書に記載し、提出するものとする。

(3) 工事の施工については、請負者の責任において実施するものとする。

4. 任意仮設

(1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討を行い、請負者の責任において決定し施工するものとする。

(2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第8章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

2. 工程管理

施工計画書に基づき、適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

(2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

(1) 「写真管理基準（案）」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。

(2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

## 第9章 その他

### 1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

## 第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路（市単）			1	式		
管きょ工（開削）			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 62.000 m3
						管路碎石埋戻（管上30cm迄） 12.000 m3
						管路碎石埋戻（管頂30cm以上） 15.000 m3
						管路埋戻（発生路盤材） 10.000 m3
						発生土処理 53.000 m3
管布設工			1	式		リブ付硬質塩化ビニル管 27.700 m
管基礎工			1	式		碎石基礎 27.400 m
管路土留工			1	式		建て込み簡易土留 29.500 m
						簡易土留め材賃料 1.000 式
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立1号マンホール 2.000 箇所
						内副管 1.000 箇所
付帯工			1	式		
舗装撤去工（着工時）			1	式		舗装版切断 60.000 m
						舗装版破碎 28.000 m2
						殻運搬処理 1.000 m3
舗装仮復旧工			1	式		表層 28.000 m2
						上層路盤 28.000 m2
						下層路盤 28.000 m2
						路床入替 8.000 m3
安全対策			1	式		
安全対策費			1	式		交通誘導員 1.000 式
処分費			1	式		
廃材処分			1	式		処分費 1.000 式
直接工事費計			1	式		



# 工事数量総括（内訳）表

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費 2.900 t
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事費計						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

# 本工事費内訳書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路 (市単)									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					62.000	m3			
機械掘削工(バックホウ) バックホウの機種(山積0.28m3(平積0.2m3))					62.000	m 3			第0001号代価表
管路碎石埋戻 (管上30cm迄)					12.000	m3			
碎石埋戻 (Q=0.28)					12.000	m 3			第0003号代価表
管路碎石埋戻 (管頂30cm以上)					15.000	m3			
碎石埋戻 (Q=0.28)					15.000	m 3			第0003号代価表
管路埋戻 (発生路盤材)					10.000	m3			
発生土埋戻 (Q=0.28)					10.000	m 3			第0006号代価表
発生土処理					53.000	m3			
発生土処分 (Q=0.28+ダンプ 4t) ス トックヤード利用L=4.4km					53.000	m 3			第0007号代価表
管布設工									
リブ付硬質塩化ビニル管					27.700	m			
リブ付硬質塩化ビニル管設置工(市 場単価) 規格(管径200mm), 施工規模加算(標準), 時 間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作 業の場合の補正(無)					27.700	m			第0010号代価表

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				マンホール用可とう継手 (リブ管用) Φ200	4.000	個			
				管基礎工					
				砕石基礎	27.400	m			
				砕石基礎 (市場単価)	3.000	m <sup>3</sup>			第0011号代価表
				管路土留工					
				建て込み簡易土留	29.500	m			
				建込み工(簡易土留) 掘削深さ(2.5m以下)	29.500	m			第0013号代価表
				引抜き工(簡易土留) 掘削深さ(2.5m以下)	29.500	m			第0015号代価表
				簡易土留め材賃料	1.000	式			
				簡易土留め材賃料 (H=2.5m)	30.000	m <sup>2</sup>			第0016号代価表
				マンホール工					
				組立マンホール工					
				組立1号マンホール	2.000	箇所			
				圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部 材(ボルト含)付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	2.000	個			
				転落防止はしご (φ600用) φ600	2.000	個			
				無収縮モルタル	0.034	m <sup>3</sup>			
				調整リング H=15cm	2.000	個			

# 本工事費内訳書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				斜壁 (1号用) H=450mm	1.000	個			
				斜壁 (1号用) H=600mm	1.000	個			
				管取付壁 (躯体フック) 1号用, H=1500mm	2.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	2.000	個			
				削孔費 (0号, 1号, 楕円用) Φ200	2.000	箇所			
				底部工 (1号用)	2.000	箇所			第0017号代価表
				組立マンホール設置工(市場単価) 規格(1号(内径900mm)深さ3m以下), 施工規模加算(標準), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の場合の補正(無)	2.000	箇所			
				内副管	1.000	箇所			
				内副管継手 (省スペース型) Φ200×Φ150	1.000	個			
				固定金具 (SUS製) Φ150用	2.000	個			
				内副管取付工 段差H=1.57m 管種(硬質塩化ビニル管), 内径(150mm), 塩ビ管長(1.57 m), 段差(1.5m~2.0m未満)	1.000	箇所			第0018号代価表
				付帯工					
				舗装撤去工 (着工時)					
				舗装版切断	60.000	m			
				舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下)	60.000	m			施工P 第0019号代価表
				舗装版破碎	28.000	m2			

# 本工事費内訳書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm以下), 積込作業の有無(有り)		m2			施工P 第0020号代価表
	28.000				
殻運搬処理		m3			
	1.000				
As殻運搬 大成ロテック (L=7.1km) 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (11.5km以下)		m3			施工P 第0021号代価表
	1.000				
舗装仮復旧工					
表層		m2			
	28.000				
仮復旧表層(再生密粒, t=5cm, 人力施工) 平均厚さ(45mm以上55mm未満), 平均幅員(1.4m未満), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(13)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3)		m2			施工P 第0022号代価表
	28.000				
上層路盤		m2			
	28.000				
上層路盤 (M-30, t=15cm) 平均厚さ(125mmを超え150mm以下), 材料(粒度調整砕石 M-30)		m2			施工P 第0023号代価表
	28.000				
下層路盤		m2			
	28.000				
下層路盤 (RC-40, t=20cm, 人力施工) 平均厚さ(175mmを超え200mm以下), 材料(再生クラッシュ RC-40)		m2			施工P 第0024号代価表
	28.000				
路床入替		m3			
	8.000				
路床入替工 (RB-40, W=1.0m未満)		m3			第0025号代価表
	8.000				
安全対策					

# 本工事費内訳書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
安全対策費									
交通誘導員					1.000	式			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))					14.000	人日			第0027号代価表
処分費									
廃材処分									
処分費					1.000	式			
ストックヤード利用料金 発生土搬入					53.000	m <sup>3</sup>			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					3.000	t			
直接工事費計									
共通仮設									
共通仮設費									
運搬費									
仮設材運搬費					2.900	t			
仮設材の運搬(簡易土留め材)土浦市～L=14.7km, 往路 基本運賃(実数入力)(円/t), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					2.900	t			第0028号代価表
仮設材の運搬(簡易土留め材)土浦市～L=14.7km, 復路 基本運賃(実数入力)(円/t), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					2.900	t			第0028号代価表

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 29-05-149-E-002 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材の積み取り卸し費 作業区分(積み、取卸し(往復分))	2.900	t			第0029号代価表
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事費計					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

第 29-05-149-E-002号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ(クロー) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.28 m3 機械使用条件コード(0), 岩石割増しコード(岩石工の割増対象にしない), 機械損耗部品補正(普通), 供用日当り運転時間(時間), 交替制による割増し(交替制を適用しない), 異常補正(0), 基礎価格補正(しない), 輸送補正(しない), 運転日当り運転時間(時間)		時間			第0002号 代価表 20170701
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 バックホの機種	1	山積0.28m3(平積0.2m3)



第 0002 号 代価表 バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第1次) 山積0.28m3

第 29-05-149-E-002号

1.000 時間 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号 (陸上用)	6.300	L			
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.28m3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 機械使用条件コード	0	0
J02 岩石割増しコード	1	岩石工の割増対象にしない
J03 機械損耗部品補正	1	普通
J04 供用日当り運転時間		時間
J05 交替制による割増し	1	交替制を適用しない
J06 異常補正	0	0
J07 基礎価格補正	1	しない
J08 輸送補正	1	しない
J09 運転日当り運転時間		時間



第 0004 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ投入)

第 29-05-149-E-002号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ(クロー) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.28 m3 機械使用条件コード(0), 岩石割増しコード(岩石工の割増対象にしない), 機械損耗部品補正(普通), 供用日当り運転時間(時間), 交替制による割増し(交替制を適用しない), 異常補正(0), 基礎価格補正(しない), 輸送補正(しない), 運転日当り運転時間(時間)		時間			第0002号 代価表 20170701
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 バックホの機種	入力値 1	入力名称 山積0.28m3(平積0.2m3)
-------	-----------------	----------	---------------------------

第 0005 号 代価表 タンパ締固め

施工P(機1.53%, 労97.03%, 材1.44%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	1.530	%			K1
特殊作業員	51.820	%			R1
普通作業員	45.210	%			R2
ガソリン レギュラー	1.440	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称

入力値

入力名称





第 0008 号 代価表 発生土ダンプトラック運搬工(4t積, 機械積込)

第 29-05-149-E-002号

10.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック4t積運転 タイヤ損耗費(良好)		日			第0009号 代価表 20170701
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 積込機種	2	バックホウ山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )
J 0 2 DID区間の有無	1	無
J 0 5 運搬距離(山積0.28m <sup>3</sup> DID無)	5	4.5km以下
J 0 7 タイヤ損耗費	2	良好

第 0009 号 代価表 ダンプトラック 4 t積運転

第 29-05-149-E-002号

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号 (陸上用)	34.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 タイヤ損耗費	入力値 2	入力名称 良好
-------	----------------	----------	------------



第 0010 号 代価表 リブ付硬質塩化ビニル管設置工(市場単価)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 管径200mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格		2		管径200mm	
J 0 2 施工規模加算		1		標準	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		1		無	
J 0 4 夜間作業の場合の補正		1		無	



第 0012 号 代価表 砕石基礎工(機械施工)(市場単価)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砕石基礎工 機械施工	1.000	m <sup>3</sup>			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 施工規模加算		2		標準より小さい(10m <sup>3</sup> 未満)	
J 0 2 時間的制約を受ける場合の補正		1		無	
J 0 3 夜間作業の場合の補正		1		無	

第 0013 号 代価表 建込み工(簡易土留)

第 29-05-149-E-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ(クローラ) [標準]排ガス型(第1次) 山積0.28 m <sup>3</sup>		時間			第0014号 代価表 20170701
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深さ	入力値 3	入力名称 2.5m以下
-------	--------------	----------	----------------



第 0015 号 代価表 引抜き工(簡易土留)

第 29-05-149-E-002号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 掘削深さ	入力値 3	入力名称 2.5m以下
-------	--------------	----------	----------------

第 0016 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.5m)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.5m		日			
簡易土留め整備費 H=3.5m未満 (掘削幅W=3.0m以内)	1.000	m <sup>2</sup>			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称





第 0018 号 代価表 内副管取付工

第 29-05-149-E-002号

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 管種	1	硬質塩化ビニル管
J 0 2 内径	1	150mm
J 0 3 塩ビ管長	1.57	1.57 m
J 0 4 段差	3	1.5m~2.0m未満

第 0019 号 代価表 舗装版切断

施工P(機7.00%, 労54.30%, 材38.70%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.490	%			K1
特殊作業員	18.610	%			R1
普通作業員	16.210	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.300	%			Z1
ガソリン レギュラー	2.180	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下

第 0020 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.89%, 労84.61%, 材6.50%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	8.890	%			K1
普通作業員	39.110	%			R1
土木一般世話役	23.610	%			R2
運転手 (特殊)	21.890	%			R3
軽油 1.2号 (陸上用)	6.500	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り

第 0021 号 代価表 殻運搬

施工P(機47.91%, 労36.88%, 材15.21%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	47.910	%			K1
運転手 (一般)	36.880	%			R1
軽油 1.2号 (陸上用)	15.210	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下

第 0022 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.43%, 労39.65%, 材59.92%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 5 - 1 4 9 - E - 0 0 2 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.290	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.070	%			K2
特殊作業員	15.590	%			R1
普通作業員	13.610	%			R2
土木一般世話役	4.120	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	54.740	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.080	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z3
軽油 1.2号(陸上用)	0.030	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	3	45mm以上55mm未満
J02 平均幅員	1	1.4m未満
J03 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物(13)
J04 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3

第 0023 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.38%, 労55.75%, 材38.87%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.790	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.440	%			K2
普通作業員	23.480	%			R1
運転手(特殊)	19.650	%			R2
特殊作業員	11.000	%			R3
粒度調整碎石 M-30	37.280	%			Z1
軽油 1.2号(陸上用)	1.550	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	2	125mmを超え150mm以下
J02 材料	5	粒度調整碎石 M-30

第 0024 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機5.49%, 労56.79%, 材37.72%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.840	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.490	%			K2
普通作業員	23.910	%			R1
運転手(特殊)	20.020	%			R2
特殊作業員	11.210	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	36.100	%			Z1
軽油 1.2号(陸上用)	1.580	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	4	175mmを超え200mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40

第 0025 号 代価表 路床入替工 (RB-40, W=1.0m未満)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m3			
埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m未満)	1.000	m3			施工P 第0026号 代価表 20170701
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称



第 0026 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.05%, 労89.82%, 材3.13%, 市0.00%)

第 29-05-149-E-002号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m <sup>3</sup>	6.260	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.790	%			K2
普通作業員	54.600	%			R1
特殊作業員	26.800	%			R2
運転手 (特殊)	8.420	%			R3
軽油 1.2号 (陸上用)	2.390	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.740	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

J01 条件名称  
施工方法

入力値  
4

入力名称  
最大埋戻幅1m未満

第 0027 号 代価表 交通誘導警備員B

第 29-05-149-E-002号

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 1	入力名称 昼間勤務（交替要員無し）		

第 0028 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

第 29-05-149-E-002号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設材の運賃料金 鋼材の運送に関わる運賃料金	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 基本運賃 (実数入力)				円/t	
J 0 2 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 3 運搬割増率 (実数入力)		0		0	
J 0 4 その他の諸料金の有無		2		無	

第 0029 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費

第 29-05-149-E-002号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)	2.000	t			
合計					
			単位当り		
J 0 1 条件名称 作業区分		入力値 4	入力名称 積込み、取卸し (往復分)		

平成29年度

29市単公下第1号工事

数 量 計 算 書

(単独)

茨城県石岡市都市建設部下水道課

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
管きよ工	内径φ200mm	路線延長		m	29.50	29.50	
	管路土工						
		管路掘削	機械掘削合計	m <sup>3</sup>	62		
			機械掘削 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	62.00	62.36	
			機械掘削 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
		管路埋戻(砕石)	合計(管上30cmまで)	m <sup>3</sup>	12		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup> (管上30cmまで)	m <sup>3</sup>	12	12.41	
			山積Q=0.45m <sup>3</sup> (管上30cmまで)	m <sup>3</sup>			
		管路埋戻(発生路盤材)	合計(管上30cm以上)	m <sup>3</sup>	25		
			発生路盤材流用分(管上30cm以上)				
			28.02×0.35=		10	9.807	
			砕石埋戻工 山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	15	15.09	
			砕石埋戻工 山積Q=0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
		発生土処理	発生土処理合計	m <sup>3</sup>	53	52.553	
			発生路盤材流用分				
			28.02×0.35=	m <sup>3</sup>		9.807	
							62.36-9.807=52.553
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管	φ200mm×4.00m	本	8	8	
		マンホール用可とう継手	φ200mm リブ管用	個	4	4	
		硬質塩化ビニル管布設工	φ200mm	m	27.7	27.70	
	管基礎工						
		砕石基礎	砕石基礎合計	m	27.4		
			山積Q=0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	3.0	2.60	
			基礎延長	m	27.4	27.38	
	管路土留工						
		たて込み簡易土留	H=2.00m	m			
			H=2.50m	m	29.50	29.50	
			H=3.00m	m			
			H=3.50m	m			
			H=3.50m	m			
			H=4.00m	m			
			H=4.50m	m			

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
			H=5.00m	m			
	水替え工			式	1	1	
マンホール工							
	組立マンホール工						
	組立1号マンホール			箇所	2	2	
		マンホール材料		式			
		マンホール蓋	T-14	組	2	2	
			T-25	組			
		転落防止はしご	φ 600用	組	2	2	
		調整モルタル		m <sup>3</sup>	0.034	0.0336	
			0.034×1875kg/m <sup>3</sup>	Kg	63.75		
		調整リング	50mm	個			
			100mm	個			
			150mm	個	2	2	
		斜壁ブロック	H=300	個			
			H=450	個	1	1	
			H=600	個	1	1	
		直壁ブロック	H=300	個			
			H=600	個			
			H=900	個			
			H=1200	個			
			H=1500	個			
			H=1800	個			
		躯体ブロック	H=600	個			
			H=900	個			
			H=1200	個			
			H=1500	個	2	2	
			H=1800	個			
		底版ブロック	H=130	個	2	2	
		削孔工	φ 100mm	箇所	2	2	
			φ 150mm	箇所			
			φ 200mm	箇所	2	2	
		底部工					
			有り	箇所	2	2	

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
			無し	箇所			
			碎石基礎工	m <sup>2</sup> /箇所	0.95	0.95	
			インパートコンクリート	m <sup>3</sup> /箇所	0.16	0.16	
			モルタル上塗り工	m <sup>2</sup> /箇所	0.74	0.74	
		ブロック据付工					
			3m以下	箇所	2	2	
			3m超4m以下	箇所	1	1	
			4m超5m以下	箇所			
	副管設置工						
				箇所	1	1	
		管類		式	1		
		副管用支管	φ 200mm×φ 150mm	個			
		プレーンエンド直管	φ 150mm	m	1.57	1.57	
			φ 150mm×4.00m	本	1	1.00	
		カラー	φ 150mm	個			
		90° 曲管	φ 150mm	個			
		1号内副管用マンホール継手セット	φ 200*150	個	1	1	
		バンド	φ 150 SUS製	本	2	2	
		副管取付工	落差 H=1.57	箇所	1	1	
付帯工							
	舗装撤去工						
		舗装版切断	As t=20cmまで	m	60	59.00	
			Co t=20cmまで	m			
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m <sup>2</sup>	28	28.03	
			Co t=15cm以下	m <sup>2</sup>			
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m <sup>3</sup>	1	1.40	
			Coガラ運搬	m <sup>3</sup>			
			Asガラ処理	t	3	3.29	
			Coガラ処理	t			
	道路復旧工						
		表層工	再生密粒度As t=5cm	m <sup>2</sup>	28	28.03	
		上層路盤工	M-30 t=15cm	m <sup>2</sup>	28	28.03	
		下層路盤工	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	28	28.03	
		路床入替工	RB-40 t=30cm	m <sup>3</sup>	8	8.41	
	安全対策費						





塩ビ管材料計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	人孔用砂付短管			直管部延長	本数	片受直管 ゴム輪受口 4.0m/本	可とう 継手	摘要
	上流	上流	上流				(差口)	(受口)	副管(受口)					
	下流	下流	下流				0.50m/本	0.50m/本	1.00m/本					
D502	D502-4	1号	0.450	22.10	0.90	21.20				21.20	6		2	市道As(A)
	D502-3	1号	0.450											
D502	D502-3	1号	0.450	7.40	0.90	6.50				6.50	2		2	市道As(A)
	既設D5-2-1	1号	0.450											
合計				29.50	昼間 夜間	27.70				27.70	8		4	



山 留 工 計 算 書

路線番号	人孔番号	掘平 削 深均	掘 削 幅	路 線 延 長	木矢板工法						軽量鋼矢板工法			建込み簡易土留め工法							備 考		
					H=1.50m 全面	H=1.80m 全面	H=2.10m 全面	H=2.40m 全面	H=2.40m 全面	H=2.70m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00 全面	素掘り 全面	H=2.00m 全面	H=2.50m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00m 全面	H=4.50m 全面		H=5.00m 全面	
	上流	H,H'	B	L	支保工1段	支保工1段	支保工1段	支保工1段	支保工2段	支保工2段	支保工2段	支保工2段	支保工2段	支保工3段	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		(m)	
D502	D502-4																						
D502	D502-3	2.25	0.95	22.10												22.10							
D502	D502-3 既設D5-2-1	2.35	0.95	7.40												7.40							
合計		平均 2.28		29.50												29.50							





## 1号組立式マンホール底部工数量(φ200)

### 1.インバートコンクリート

$$1/4 \times \pi \times 0.90^2 \times 0.27 = 0.172\text{m}^3$$

$$- 1/4 \times \pi \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90 = -0.014\text{m}^3$$

$$\Sigma V = 0.158\text{m}^3$$

### 2.モルタル上塗り工 t=2cm

$$1/4 \times \pi \times 0.90^2 = 0.636\text{m}^2$$

$$0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90 = 0.283\text{m}^2$$

$$- 0.20 \times 0.90 = -0.180\text{m}^2$$

$$\Sigma A = 0.739\text{m}^2$$

### 3.基礎砕石 t=20cm

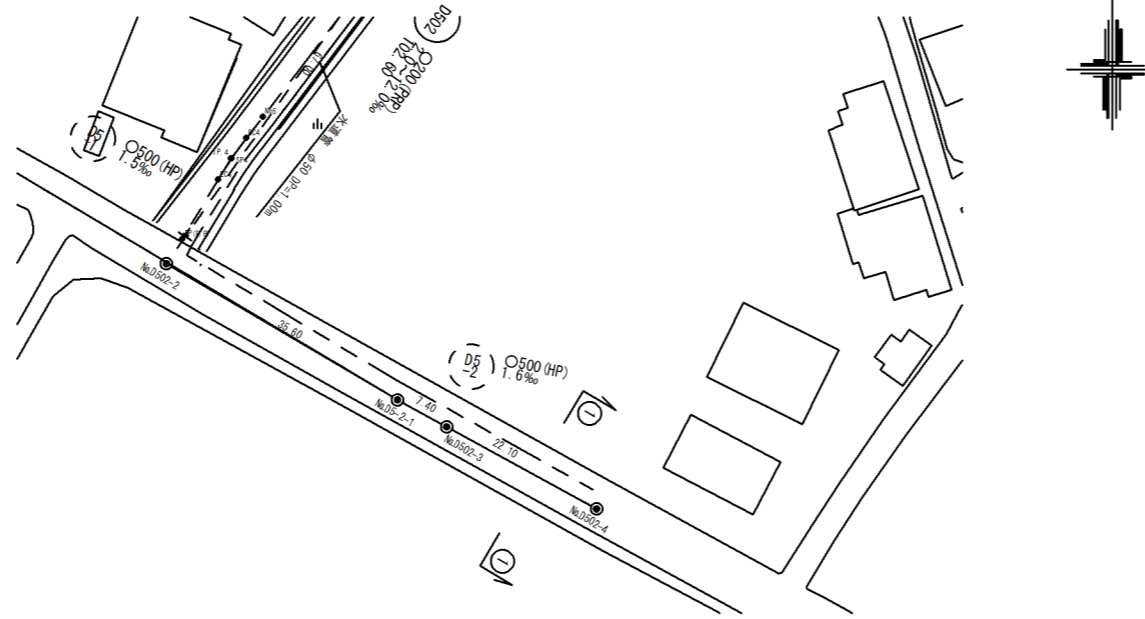
$$1/4 \times \pi \times 1.10^2 = 0.950\text{m}^3$$

仮復旧計算書

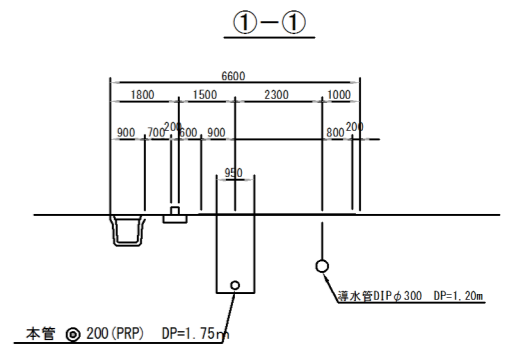
路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	仮復旧表層工		上層路盤工		下層路盤工		路床入替工		路盤工		舗装切断工		舗装版破砕工			Asガラ処分工			備考		
					市道As(A) t=5cm (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )	市道As(A) t=15cm (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )	市道As(A) t=20cm (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )	市道As(A) t=30cm (m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )	AS t=5cm (m)	Co (m)	As		Co (m <sup>2</sup> )	本管 (m <sup>3</sup> )	本管 (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )			
																	t=5cm (m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )							
D502	D502-4 D502-3	市道As(A)	22.10	0.95	21.00		21.00		21.00		6.30				44.20		21.00				1.05		1.05		
D502	D502-3 既設D5-2-1	市道As(A)	7.40	0.95	7.03		7.03		7.03		2.11				14.80		7.03				0.35		0.35		
合計					28.03		28.03		28.03		8.41				59.00		28.03 掘削積込				1.40		1.40		



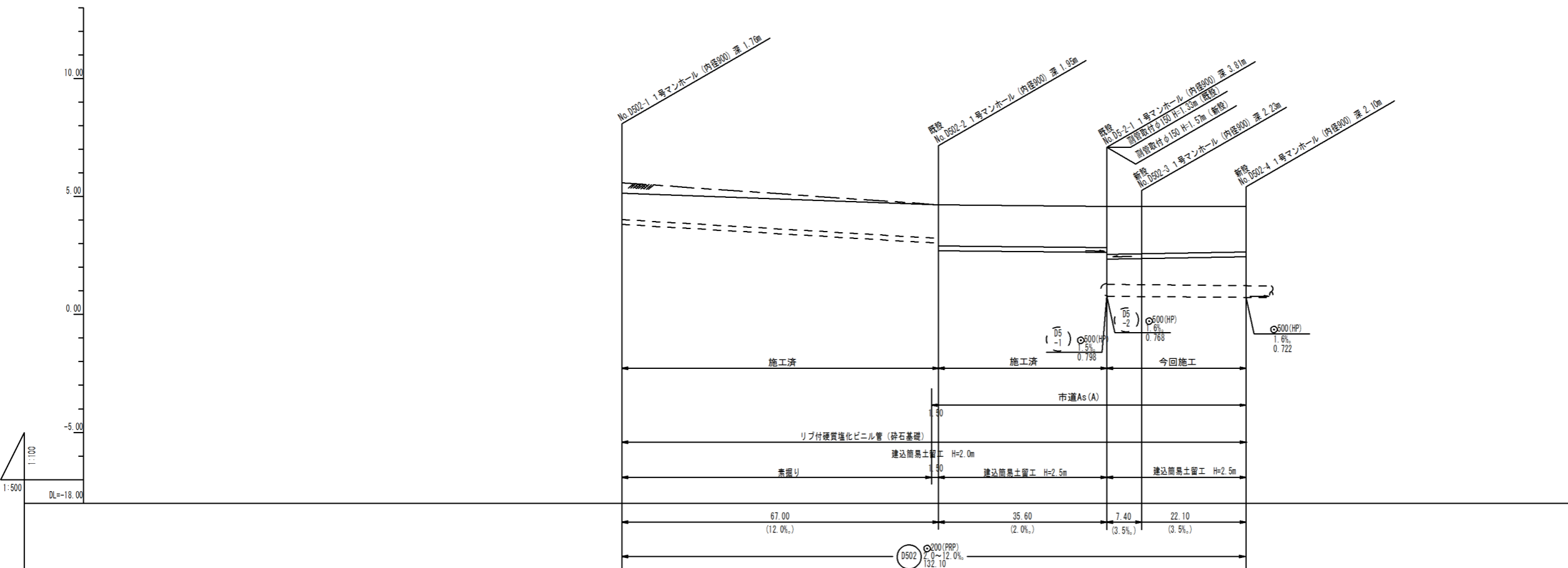
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100



縦断面図 縮尺 縦尺 1:100 横尺 1:500



地盤高	5.93	4.95	4.58	4.57	4.54
土被り	1.56	1.43	1.75	2.03	1.90
管底高	3.819	3.015	2.631	2.348	2.440
掘削深	1.96	1.74	2.05	2.33	2.20

年度	平成 29 年度	図面番号	1 / 1
工事名	29市単公下第1号工事		
図面名称	平面図・縦断面図・横断面図		
工事箇所	石岡市 総社2丁目 地内		
縮尺	図示	図面作成	平成29年 6月
製図	検査	設計	監理
石岡市			